



歴史好きタレントたちと学ぶ！ユネスコ「世界の記憶」魅力まるわかりトークイベント ～第一部～

趣旨

ユネスコ「世界の記憶」事業の、国内における事業趣旨、目的の認知度を向上させるため、歴史に詳しいゲストや専門家によるトークを通して、「世界の記憶」に対する国民の理解促進や機運醸成の促進を図る。

<出演者>（敬称略）

MC：古坂大魔王

ゲスト：山崎怜奈（元乃木坂46）

チャド・マレーン（お笑い芸人）

専門家：

倉本一宏（国際日本文化研究センター教授）

安形麻理（慶應義塾大学文学部教授）

島谷弘幸（国立文化財機構理事長・九州国立博物館館長）

「世界の記憶」取組紹介①

「世界の記憶」→ユネスコによる、人類史上忘れ去られてはならない貴重な記憶を守り、保存していくため活動。

20世紀末、災害や紛争、盗難などによって世界各国で危機的状況にあった記録遺産の適切な保存に対する機運が高まっていた。

地震や水害などの災害もあり、現在も記録遺産を取り巻く状況は厳しい。

「世界の記憶」の代表的な登録記憶遺産紹介

ニコラス・コペルニクス「天球の回転について」

マグナ・カルタ「大憲章」、ベートーヴェン「第九交響曲」手書き譜面、

古代ナシ族トンパ文字写本、ランドサット計画の記録

「世界の記憶」魅力発見！深掘り①「グーテンベルク聖書」



ドイツのヨハネス・グーテンベルクが15世紀に世界で初めて活版印刷技術を用いて制作した書籍。15世紀まで書物は手書きの写本のみで、特権階級のみが持つ高級品だった。

ここがすごいよ！グーテンベルク聖書！

- ① 古代ギリシャの文芸復興
- ② ルターの宗教改革
- ③ 科学技術の進歩

活版印刷技術により多くの書物が流通するようになった。結果特権階級以外の人々にも書物が行きわたり、教育レベルの向上や知的活動の活性化に貢献した。



歴史好きタレントたちと学ぶ！ユネスコ「世界の記憶」魅力まるわかりトークイベント ～第二部～

「世界の記憶」魅力発見！深堀り②「御堂関白記」

世界への影響

- ① 自筆日記として世界最古
- ② 天文学的資料となる具注暦
- ③ 当時の貴族文化儀礼を伝える



道長の本当の性格！？

「御堂関白記」を読み解くことで、千年以上前の権力者である道長の人間らしさを読み取ることができ、内容面でも世界に誇るべき記録



「世界の記憶」取組紹介②

「世界の記憶」に登録したい場合

- 国内委員会を通して申請
- 世界的な視野で必要性を証明
- 2年に1度2点まで申請



申請のポイント

- 早めに準備、国内委員会へ相談
- 国際登録とアジア太平洋地域登録は、登録されると同じ扱い
- 情報と記録媒体がセットである必要がある
- 文書は英語だが国内委員会が英訳に関しても相談可能

関連情報の収集

- 文部科学省のHPに詳細を記載

エンディング ～「世界の記憶」について学んで～

今自分たちが目撃しているものが
世界の記憶になるかもしれない
と思うとわくわくする

客観的に世界的に重要であるとの
物差しで登録されたという
価値観を知ることができた